

# 達成状況評価書(平成25年度)

部局名:総合学術博物館

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成25年度は、広く学生、市民とのコミュニケーションの場としての博物館活動を充実させ、学内教育に関して共通教育科目の基礎セミナー「博物館体験コース」を開講するとともに、学芸員資格取得の単位数改正にともない学内での博物館実習を実施した。また、豊中キャンパス内の絵画、彫刻、オブジェ等のアトリソース調査を行うなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成25年度は、館員の研究成果を展覧会につなげ、1950~60年代に大阪で繰り広げられた先進的な活動を紹介する文理融合型展覧会として第16回企画展「オオサカがとんがっていた時代―戦後大阪の前衛美術 焼け跡から万博前夜まで―」開催するなど、成果が上がっている。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成25年度は、定例の特別展・企画展に加え、第17回企画展「野中古墳と「倭の五王」の時代」などを実施し、20,429人の入館者数を獲得している。また、展覧会に関連し、大学博物館の在り方や研究教育におけるミッションを広く社会に発信するための講演会として、『大学博物館、街に出る「これでいいのか?大阪のミュージアム―地域文化と学術研究の担い手を目指して―」など、41回のシンポジウム・公開講座等の各種イベントを行うなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18~30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成25年度は、高機能収蔵庫収蔵(修学館横)の運用を開始し、適塾記念センターと協力して適塾関連資料を収蔵するとともに、文学研究科考古学教室が所有する甲冑などの鉄製武具の貴重資料の収蔵も進めたほか、寄託された具体美術協会関係資料を収蔵するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】</p> <p>中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成25年度は、定例の特別展・企画展に加え、「野中古墳と「倭の五王」の時代」という特色ある企画展を実施し、20,429人の入館者数を得るなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>